

編集・発行 東金市教育委員会 教育部教育総務課

〒283-8511 東金市東岩崎1番地1 東金市役所4階 / TEL 0475-50-1183  
 メール: kyoso@city.togane.lg.jp URL: http://www.city.togane.chiba.jp/

第13号

平成29年  
6月30日発行



全国大会 1位(金賞)

東金中学校 吹奏楽部



東金中学校吹奏楽部は平成29年3月31日に東京で行われた第19回ジュニア管打楽器コンクール全国大会に打楽器6重奏が出場し、見事1位(金賞)を受賞しました。今回は吉岡孝悦作曲の「マリリンバとティンパニと4人の打楽器奏者のための協奏曲」を演奏しました。初めてこのコンクールに参加し、予選を通過して本選大会に出場できたので、大会当日は日頃の練習の成果を発揮できるようにと6人で心を一つにして演奏しました。

現在は夏のコンクールに向けて練習を始めています。今年もひとつひとつの機会に納得のいく演奏ができるように毎日の練習を大切にしていきたいと思えます。【吹奏楽部顧問 田中】



写真左より岩瀬 立快、吉田 歩登、鈴木 梨子、野名 珠生、大塚 春菜、丸山 史香

## 図書館教養講座

4月16日(日)、東金図書館において、絵本作家のいとうひろし氏を講師に迎え、図書館教養講座を開催しました。「絵本の育て方」絵本を読むこと・作ること」と題して、絵本の楽しみ方について講演いただきました。

講演では、絵本を読むことは作ることに同じくらい創造的な行為であり、読んだ人それぞれの楽しみ方がある、ということをご本人の著書の例などを挙げながらお話しをされました。約60名の方が参加され、皆さん熱心にいとう講師のお話に聞き入っていました。



## 南房総わくわく探検隊

〜森と海に囲まれた自然と触れ合う〜

南房総わくわく探検隊は、小学生27名により、3月26日〜27日の1泊2日で、南房総市にある大房(たいぶさ)岬自然の家を訪れ、「岬探検」や「ドラム缶ピザとスープづくり」を行うなど、自然の中でのキャンプ体験をしました。

初日は雨天のため、予定のポイントラリーを行わず「岬探検」のみを実施し、翌日のネイチャークラブで使用する貝殻等を収集しました。雨天でしたが、参加者は熱心に取り組んでいました。

夕方には室内で自然学校スタッフ指導のもと「キャンドルファイヤー」を実施しました。スタッフのレクにより参加者は大いに盛り上がりつつありました。

二日目の午前は、昼食用のスープとドラム缶で焼き上げるピザ

作りに取り組みました。各班でピザ生地作り、野菜切りなど担当を分け、ピザのトッピングをし、焼き上げました。焼き立てのピザは、味も格別でおいしかったとのことでした。

帰り間際に晴れ間が現れ、運動園地を散策し、東京湾を見渡すことができました。

短い時間でしたが、子ども達は普段なかなか出来ない貴重な体験を満喫していました。



## 学校支援ボランティアを募集しています

東金市内の幼稚園・小・中学校では、教育活動をお手伝いいただく方を募集しています。特に、お願いしたい内容は次の3つです。

- ① 小学校での読み聞かせ
- ② 小・中学校の図書室の整理
- ③ 放課後子ども教室の支援員

①については、東金市内9小学校にボランティア団体があり、約100名の方が活動していますが、今後の人員不足が心配されます。

②については、いくつかの学校で活動しており、今後、より一層の充実をめざしています。

③については、夏休みや冬休み、平日の放課後などに、子どもたちの学習支援等をお願いします。(本年度は、豊成小・福岡小・源小・日吉台小で開催) それ以外にも、ご協力いただけると助かる分野がたくさんあります。みなさんの特技や趣味を生かして、子どもたちと一緒に活動してみませんか？

詳しくは、学校教育課指導係(501-1204)まで、お問い合わせください。

## 子は親の鏡



教育委員  
松寄 光孝

この言葉は私の尊敬するドロシー・ロバー・ノルト博士の言葉です。子どもは親の行いを真似て育ちます。「子どもの行いは鏡に映った自分の姿だと認識して行動しましょう」という言葉です。子どもに「挨拶をしましょう」と教えても自分が挨拶をしなければ子どもは挨拶をしきれません。

昨今PTAは必要無いのではという意見が聞こえています。確かに役員に選ばれると、自分の時間を削って活動するのはずから負担が無いことはありません。

しかし、一部のみに活動を任せるばかりがPTA活動ではありません。会員皆が学校行事や地域活動に参加することにより、顔見知りが増え、挨拶が増える事により、住民以外の人が目立ち、犯罪者や不審者が犯罪を起こしにくい街になり、結果子ども達が安全で住み易い街になる効果があるのです。それだけでも大変意義がある活動だと思います。

将来、今の子ども達がより安全で快適な社会にしてくれるように、子どもたちに自分の背中を見せて導くのが大人の務めと考えれば、PTA活動は決して無駄な活動などでは無いと私は考えます。

劇団四季「こころの劇場」

「力を合わせて仲間を守れ！」



5月2日(火)市内9小学校の5・6年生、約900名が東金文化会館大ホールで、劇団四季のファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」を鑑賞しました。

この企画は、劇団四季が主催し文部科学省が後援する「こころの劇場」です。東金市では東金文化会館のご協力をいただき、2年に1度開催しています。

団員の皆さんは前日から舞台の仕込みを行い、入念なりハーサルを繰り返して、ベストの状態子どもたちを迎えようと努力していました。

開演となり、いつもと違う環境に少し落ち着きのなかった子どもたちですが、迫力ある歌声と演技にあつという間に劇にのめり込んでいきました。

この劇の主役であるガンバを中心としたネズミの仲間たちは、「踏みだそう、自分を信じて。立ち向かおう、仲間を信じて。」を合い言葉に、恐ろしい敵であるイタチ・ノロイ一族に立ち向かっていきます。子どもたちは、ガンバに自分の思いを重ねて、心の中でノロイ一族と戦っていたことと思います。ガンバたちの勇敢ある行動と仲間を思う気持ちから、子どもたちも何かを感じてくれたことと思います。

終演となり、今まで敵対していたガンバたちとノロイ一族が舞台上楽しく歌ったり踊ったりしていました。その楽しく和やかな雰囲気のまま、役者たちはエントランスに走り、子どもたちを見送ってくれました。舞台と客席が一体となった演出に、感動はより大きなものとなりました。



就学援助制度について

すべての児童生徒が円滑に義務教育を受けられるようにするために、経済的理由により給食費や学用品費などの支払いでお困りのご家庭に対して援助を行っています。

援助を希望される方は、東金市教育委員会学校教育課までお問い合わせください。

【対象となる方】

市内小・中学校に通学するお子さんの世帯で次の①②③のいずれかに該当する方。

ただし、前年中の収入額等の合計額が生活保護基準額の1.3倍以下の方。

- ①生活保護を受けている方
- ②前年度又は当該年度において、次のいずれかの措置を受けた方
  - ア生活保護の停止又は廃止
  - イ市民税の非課税又は減免、個人の事業税の減免、固定資産税の減免
  - ウ国民年金の掛金の減免
  - エ国民健康保険料の減免又は徴収の猶予
  - オ児童扶養手当の支給
  - カ生活福祉資金の貸付
- ③その他

ア 離職又は転職等により、前年と比較して著しく収入が減った方

基準額の目安		
家族人数		基準額
2人	(母・小学生)	277万
3人	(母・小学生2人)	343万
4人	(母・小学生・中学生1人)	410万
※基準額は年齢構成によって異なります		

東金市教育委員会  
学校教育課

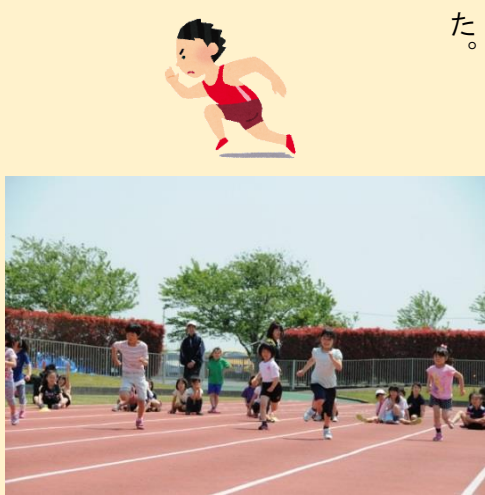
☎ 0475-501184

キッズ陸上教室  
IN 東金 2017

4月30日(日)市体育協会と市陸上競技協会主催による「キッズ陸上教室・IN・東金2017」が東金アリーナにおいて開催され、小学生約100人が参加しました。講師には世界陸上などの国際大会で活躍された100Mハイドルの石野真美選手、やり投げの宮本紀澄選手、マラソンの松尾和美選手、加納由理選手を招き、「走る楽しさ」「効果的なトレーニング」についてやさしく指導してくれました。

午前の部は小学1年生～3年生を対象に、ラダーと呼ばれているはしご状の器具を地面に置き、高速でまたいでいく「ラダートレーニング」を経験したり、リレー形式により競走したりと走る楽しさを学んでいました。

午後の部は小学4年生～6年生を対象に、短距離・長距離に分かれて行われ、スターティングの基本動作など、専門的な技術について丁寧な指導をしていただきました。



た。参加者からは、「楽しかった」、「足が速くなった気がする」など笑顔で話され、有意義な一日となったことでしょう。

また、いつもは真剣なアスリート達も、子供たちと一緒に笑顔でスポーツを楽しみ、子供たちと選手が交流する良い機会となりました。

第12回  
学校紹介

東金市立日吉台小学校



校長 小高 幸弘

学校教育目標  
“心・学・体”調和のとれた生きる力の育成

平成4年4月1日、東金市立日吉台小学校は開校し、今年で創立26年となります。本校は、東金市の北西部の台地上に広がる新興住宅地の中にあります。平成29年5月1日現在、隣接する油井・松之郷地区の児童も加えて全児童数220名、学級数は11学級(特別支援学級2学級を含む)、教職員 24名の学校です。“やさしく・かしこく・たくましく”を合い言葉に、児童の育成に取り組んでいます。

玄関を入り最初に目に入るのは、校庭を美しく彩るたくさんの花です。子どもたちや教職員の手により四季折々の花が植えられています。毎日栽培委員の子どもたちが熱心に水掛を行っており、子どもたちの豊かな心を養う要因となっています。

また、新興住宅地でありながら、周囲を森に囲まれ、一歩足を伸ばせばトウキョウサンショウウオなどの生息する谷津田もあり、子どもたちが自然環境を観察するのに絶好の立地となっています。

その他にも、本校の特徴として“父母と先生の会活動”があります。他校のPTA活動と同様の活動なのですが、自治の度合いが高く、計画・実行・会計まで、保護者が自主的に行い、それぞれに責任を持って活動しています。このような活動的、協力的な保護者に見守られ、児童は安心して学校生活を送ることができます。教職員もこれに応え、精一杯教育活動に励んでいます。

